

主な記事

ス テ ー ジ ア ッ フ。

Stage Up

- ・地域交流や街の歴史と魅力を発信
NPO法人はたらくらす
- ・地元地域に根ざす活動をすすめる
ひとみ座乙女文楽
- ・【財団情報】
「Stage Up」30年のあゆみ



詳細・他記事等

- ◆ 施設めぐり
・川崎市平和館
 - ◆ 情報ポケット
・川崎市視覚障害者
情報文化センター
 - ・お楽しみコーナー
クイズに答えよう!
 - ◆ お知らせ
・2020年度 前期
地域協働講座
受講生募集!
 - ・2020年度 第I期
陶芸教室
受講生募集
- ◀久地梅林公園
北原白秋歌碑
撮影日
2018年2月25日

<インターネット川崎ガイド>シリーズ⑫ 久地梅林公園 北原白秋歌碑

久地梅林公園内には、北原白秋が与謝野鉄幹に贈るために詠んだ「君がため 未明(まだき)に起きて 梅のはな 見に来りけり まさやけき花」の歌碑(2004[H16]年11月に高津区文化協会が建立)があります。2月中旬から3月初旬、その周りには赤・白のかわいい花を咲かせた梅の木を見ることができます。

[インターネット川崎ガイドでは、川崎市全域の公共施設、観光・散策スポット等の写真を掲載しており、それら著作権フリーの写真約10,000件を公開しています]

インターネット川崎ガイド

検索



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/> E-mail:stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

地域における注目すべき取組

地域交流や街の歴史と魅力を発信 NPO法人 はたらくらす

はたらくらすの名称

「NPO法人はたらくらす」(以降「同会」と略します)は、街全体を学校にするという構想のもと、様々な立場の人たちが、垣根を超えて関わり合い、新たな価値を創出し、人や団体のリーダーシップを育てることを目的に、2017(H29)年11月に設立しました。同会名称の「はたらくらす」は、「働きかける・働く・暮らす・クラス(集う・学ぶ)」のある街づくりの意味を持っています。(2019年12月現在会員12名)



同会は、地域交流や街の歴史と魅力を発信しており、主に次のような活動をすすめています。

夢見ヶ崎絵本

『ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル』

2018(H30)年度幸区提案型協働推進事業として、夢見ヶ

崎動物公園(加瀬山)を舞台にした絵本『ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル』(作・まさ 絵・あず)を企画・制作しました。

周辺地域の魅力を発見し、自分たちの住む地域を誇りに思ってもらうことを目的にしています。夢見ヶ崎動物公園(加瀬山)の歴史を絵本を通じて学ぶことができます。絵本と紙芝居は幸図書館、日吉分館で借りることができます。

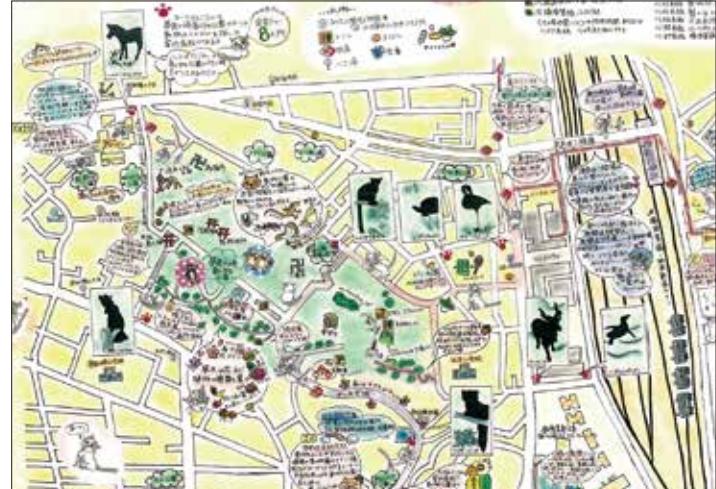


▲ 絵本「ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル」

「おいでにゃさいわいマップ」作成

同会は、地域情報発信をめざし「おいでにゃさいわいマップ」【2018(H30)年度幸区提案型協働推進事業】を作成しました。夢見ヶ崎動物公園(加瀬山)とその周辺のかくれたみどころや、子どもを連れて楽しめるスポットを幸区に住むママたちの目線で集めました。

病院や公園・同会お薦めのお店情報など、かわいいイラストと説明で紹介しています。また、駅から夢見ヶ崎動物公園までのアクセスやバス路線情報、草木や花の遊歩道など散策にも利用できます。裏面は、幸区全体図版で、こども文化センターや地域子育て支援センターの場所が掲載されています。



▲ 夢見ヶ崎動物公園とその周辺版(表面の一部)

リーダー養成セミナー

スーパーバイザー(専門の仕事をもつ同会活動への協力者)からの指導による各種ワークショップを開催

おやこの学び舎 ～放課後サイエンス ワークショップ～

(東芝未来科学館)

月1回開催。

他にも、ガーデンダンス・Caféでアート・0.1.2歳ママのおしゃべりcafé・コミュニケーションスキルアップ学習会・子ども主体の企画等 他多数



▲和紙でつくるお月見ランプ
(放課後サイエンスワークショップで作成)

地域のリーダーを育てる

代表理事の石渡裕美さんは、スマシングインストラクター・キャンプリーダー・学校図書館教諭など伝える仕事に従事し、子どもの心に寄り添う指導を実践してきました。2009(H21)年、手づくりようちえん「まんまる」を立ち上げ3人の息子たちを地域のお母さん

同士の預かり合いで育てました。(公社)日本環境教育フォーラムジャパンGEMSセンター認定リーダーの資格(科学・数学領域の参加体験型プログラム指導認定者の資格)を持ち、「ワークショップ」や「おやこの学び舎～放課後サイエンスワークショップ～」の講師を務めており、地域のリーダーを育てています。

同会では、一緒に街づくりをしてくれる仲間を募集しています。ご興味がある方は、是非ご連絡ください。

■ 問合せ NPO法人はたらくらす
代表理事 石渡 裕美さん 080-5040-4727
hatarakurasu0902@gmail.com



▲ 石渡 裕美さん

地元地域に根ざす活動をすすめる ひとみ座乙女文楽

乙女文楽とは

「文楽」はユネスコの「無形文化遺産」にも登録された日本を代表する伝統人形芝居。1体の人形を男性3人で操ることで、感情やしぐさを繊細に表現します。それに対し「乙女文楽」は、1人の人形遣いによって演じられています。昭和の初めに文楽の人形遣い五世桐竹門造らによって誕生し、1人で遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台です。



▲乙女文楽義経千本桜©古屋均

ひとみ座乙女文楽 川崎市地域文化財認定

ひとみ座乙女文楽は、国内外で公演し高い評価を得ています。地元川崎市での活動にも力を入れ、毎年中原区のひとみ座で定期公演を行っています。また、小・中学校や老人施設での公演など、さまざまなプログラムを開催しています。

▲いこいの家・乙女文楽交流公演
©現代人形劇センター

「乙女文楽」教室は2008(H20)年から毎年地域の子どもたちに向けて開催しています。しだいに継続する受講生も増え、終了後地域イベントにも出演しています。成長した高校生や大学生が、長時間の本格的な上演に挑戦しています。

2018(H30)年11月、地元地域での継続的な活動も認められ、ひとみ座乙女文楽結成50周年の節目の年に、川崎市地域文化財に認定されました。

今年の夏にも第13回ひとみ座「乙女文楽」教室を予定しています。

開催期間：

2020年7月～8月

対象：小学校高学年～高校生の男女、初級クラスと上級クラス(3年目以上の参加者)

会場：ひとみ座スタジオ(中原区井田)

参加費無料(事前申込制)持ち物：白足袋

▲昨年7月、初級・上級合同稽古
©現代人形劇センター

人形劇団ひとみ座

ひとみ座といえば、東京オリンピックにわいた1964(S39)年にはじまった「ひょっこりひょうたん島」を思い出す方もいるでしょう。NHKで5年間、放送回数1224回におよぶ当時の长寿番組となりました。

▲ひょっこりひょうたん島の出演者たち
©井上ひさし・山元護久・ひとみ座・NEP21 キャラクターデザイン片岡昌

ひとみ座乙女文楽は、人形劇団ひとみ座の女性座員によって1968年に結成されました。運営はひとみ座を母体に、人形劇の普及と創造活動をすすめている(公財)現代人形劇センターが行っています。

地域グループで乙女文楽を継承したい

ひとみ座乙女文楽に長く関わってきた、(公財)現代人形劇センター塚田千恵美理事長は、「最近では乙女文楽について知っている方も増え理解も深まってきてありがたい」「『乙女文楽』教室を受講した子どもたちは、初めて公演する時、緊張して演ずることに不安を持ちますが、一度演じ、みなさんから褒めてもらうと、自信を持ち顔も引き締まつてくる。」「将来は、地域でグループをつくり乙女文楽を継承できるようになるとよい。」と抱負を語ります。

乙女文楽を担当している藤原なつさんは、乙女文楽の公演日時など、スタッフや公演依頼者と日程調整を行っています。「乙女文楽の芝居は、集団でないとできないよさもあり、とても楽しい」と話します。



▲塚田 千恵美さん

公演予定

■大人のための伝統人形芝居 乙女文楽 体験ワークショップ 開催!

期 日：2020年3月20日(金・祝)3月22日(日)

会 場：東海道かわさき宿交流館

時 間：各日 14:00～16:00

対 象：一般(高校生以上)、定員16人(各回)

料 金：2,000円

■乙女文楽定期公演

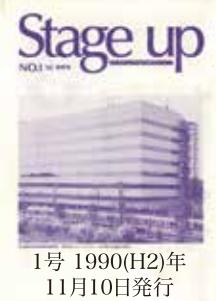
2020年5月にひとみ座スタジオ(中原区)にて開催予定
※詳細はお問い合わせください。

■問合せ 公益財団法人 現代人形劇センター
「乙女文楽」担当 藤原 なつさん 044-777-2228



「Stage Up」30年のあゆみ

川崎市民のための生涯学習情報誌 1990年11月創刊



Stage Up（ステージアップ）は1990(H2)年11月に創刊され、今年で30年になります。今号では、「Stage Up」30年のあゆみ、4月号からの誌面構成と内容、配布箇所、読者の声を掲載します。

◆30年のあゆみ

1990年11月 創刊、B5版、2,000部発行

1991年09月 第4号～

テーマ「市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く生涯学習情報誌」

1992年05月 第8号 年10回発行、表紙のカラー化

1996年05月 第48号 13,000部発行

2000年05月 第88号 A4版

2006年06月 第150号 隔月発行 10,000部

2009年06月 第168号～全ページカラー化

2010年04月 第173号～

テーマ「一人ひとりの学びと活動を支援する生涯学習情報誌」

2011年06月 第180号～

テーマ「かわさき市民のための生涯学習情報誌」

2020年04月 第233号～季刊発行

(発行予定 4月.7月.10月.1月)

【読者の声】まち・ひと・多面体

「海風の森を MAZU つくる会」

代表小笠原さんが 89才で元気に活動している様子。私の大いなる励みになりました。私は、現在 78才ですが、老いこまず益々元気に活動したく、小笠原さんの勇姿に勇気をいただきました。226号

【読者の声】情報ポケット

長沢浄水場 相模湖・津久井湖からずい道を8時間かけて通ってきた水は、水道施設や工業用水施設・東京都 etc.に分けられます。水とかがやく未来館 生きるために必要な安全でおいしい水をつくり市民の命を守っている。222号

◆2020年4月からの「構成と内容」

P1 【表紙】川崎市に関する優れた作品や市内の名所を紹介
(好評につき「川崎百景」を掲載予定)

P2-3 【まち・ひと・多面体】
社会貢献継続的な活動・地域における注目すべき取組を掲載

P4-5 【特集】市民の豊かな生涯学習活動に取組む施設や組織、文化活動やイベントを紹介する。

P6-7 【施設めぐり】市内公的施設などの「概要・事業内容に加え働く人の思い・願い」などを紹介

P8 【財団情報】当財団が主催する事業や講座・クイズ・お知らせなど

◆情報誌 Stage Up バックナンバー QRコード ▶

当財団のホームページで今までのStage Upを見ることができます！



◆市内約700箇所へ配布(一部紹介)

○市内全域の公共施設・公共機関

市役所、各区役所・出張所、各区市民館・分館、教育委員会、各区図書館、スポーツセンター、市立小・中・高等学校・特別支援学校・こども文化センター

○医療福祉関係

市立川崎病院、市立井田病院、市立多摩病院、聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学東横病院 川崎幸病院、太田総合病院、川崎市社会福祉協議会（いこいの家ほか）、川崎市医師会

○教育機関

聖マリアンナ医科大学、明治大学、専修大学、日本女子大学、慶應義塾大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、関東学院大学、大妻女子大学、和光大学、玉川大学、放送大学（渋谷学習センター、神奈川学習センター）、外語ビジネス専門学校

○銀行・商業施設

横浜銀行市内各支店、川崎信用金庫本店・市内各支店、三井住友銀行柿生支店・新百合ヶ丘支店・溝ノ口支店、中央労働金庫市内各支店、有隣堂市内各店、イトーヨーカドー溝口店、ゆりストア各店、スーパー大野屋各店

○その他の施設・機関等

各新聞社川崎支局（読売、朝日、毎日、東京、神奈川）、市役所記者クラブ、川崎市議会各会派事務局、川崎市議会議員、神奈川県議会議員（川崎市選出）

【読者の声】表紙の絵「井田山緑地」

虫を見たいと思いました。田舎に疎開した幼い日、蚊帳に虫を捕ってきて放し、従妹たちと電気を消して、楽しんだことが懐かしく、

「母の里の藁ぶき家の牛の声も 山や小川もすぐそば 赤トンボや糸トンボ 広々とした和やかな田園風景が、祖母の声が・・・」聞こえてきました。224号

【読者の声】施設めぐり

川崎市生涯学習情報誌をはじめて見ました。

地域で色々な活動を行える施設があるんですねえ。私も自分に合うことをみつけて受講したいと考えています。

これからもイベント等々お知らせ下さいね。認知症・寝た切りにならない様に利用したいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。217号



◆問合せ 生涯学習財団総務室企画情報係 TEL 044-733-5811

施設めぐり

市内公的施設の紹介

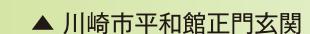
中原区

川崎市平和館

JR南武線・横須賀線「武蔵小杉駅」東急東横線「武蔵小杉駅」から徒歩約10分
「元住吉駅」から徒歩約10分、バス利用時「東住吉小学校」下車 TEL 044-433-0171

平和・非平和について学ぶことのできる施設

川崎市平和館(以降「同館」と略します)では「平和とは、すべての人間が暴力や差別、貧困や環境破壊におびやかされず安心して生活できる」ことであるとの考えのもと、日本の過去の戦争、戦時の川崎、現代の武力紛争、兵器、マスメディアと武力紛争の関わりなどの戦争についてはもちろん、国家による弾圧、武力は伴っていないものの、私たちの平和的な生活をおびやかす環境破壊、貧困、差別などについても、平和問題として展示しています。



▲ 川崎市平和館正門玄関

争の関わりなどの戦争についてはもちろん、国家による弾圧、武力は伴っていないものの、私たちの平和的な生活をおびやかす環境破壊、貧困、差別などについても、平和問題として展示しています。

包括的な平和への理解を促進し、啓発の場として、また市民の平和交流の場として、平和館が、幅広く利用されることをめざしています。

施設紹介

[1階]玄関を取り左側には、会議室(第1・2・3)と研修室があります。玄関から右側には、防空壕の体験コーナーがあります。防空壕を出て進むと屋内広場があり、ここでは、川崎大空襲記録展(3~5月)、親子平和推進事業、原爆展・特別展(8月)、そして企画展(6,11,2月)などの行事を行っています。

[2階]2階は図書コーナーとDVD視聴コーナーの他、ぐるっと一周のできる常設展示場となっています。

常設展示

「1導入：平和を考える」のコーナーでは、戦争・武力紛争だけでなく、貧困や環境破壊、差別などさまざまな内容を含む平和館常設展示を理解し易いように、平和な状態とは何かを、分りやすく説明しています。また世界の平和に関わる格言も紹介しています。導入部の頭上には焼夷弾の模型を展示しています。

常設展示は、「2 川崎と戦争」「3 日本と戦争」「4 兵器と戦争」「5 戦争と人間」「6 国家による弾圧」「7 現代の紛争」「8 武力戦争とメディア」「9 さまざまな暴力」「10 平和への取り組み」の10のコーナーで構成されており、戦時の物品の現物展示・2ヶ所の映像室などをもとに、様々な非平和を包括的に考えることができます。



▲ 「国家による弾圧」コーナー



▲ 2階 図書コーナー



▲ 「川崎と戦争」コーナー

平和学という学問

昨年11月8日(金)、館長の大坪浩行さんに2階の常設展示コーナーを案内していただきました。「戦争・貧困・飢餓・人種差別・人権侵害・環境破壊など」の各コーナーを見ながら「平和学(平和な状態とは何か)」について、考える機会となりました。



▲ 大坪浩行さん

2015(H27)年、川崎での空襲体験を22名の方から寄稿していただいた「戦後70年川崎空襲を伝える体験談」の本の紹介や平和教育の出前授業などについて説明していただきました。

平和教育出前授業や資料の閲覧と貸し出し

同館では、参加型で平和を考える出前授業を行っています。また、資料の閲覧と貸し出しを行っています。

■図書コーナー(閲覧・貸し出し)

常設展示のコーナーに対応した分類で、1万1千冊以上の幅広い平和問題の書籍があり、コーナーでの閲覧の他、貸し出しもしています。小・中学生向けの図書も多数あり、学習や夏休みの宿題などでも活用できます。

■映画DVD視聴(閲覧・貸し出し)

幅広い平和問題をカバーするDVDがあり、コーナーで視聴することができます。

■展示パネル(貸し出し)

同館では、平和学習等に活用できる「川崎空襲・原爆・沖縄戦」等の展示パネルセットを貸し出しています。

■紙芝居(貸し出し)

「戦後70年川崎空襲を伝える体験談」に収録の体験談を、読み聞かせなどで活用できる紙芝居しています。



▲ 戦後70年川崎空襲を伝える体験談の紙芝居

開館日時 午前9時～午後5時(常設展示など)
(ただし会議室などは午前9時～午後9時30分)

休館日

毎週月曜日/毎月第3火曜日(設備点検日)/12月29日～1月3日。月曜日、第3火曜日が国民の休日に当たるときは、直後の休日でない日

施設利用

会議室の利用はふれあいネットから申し込みできます。
(屋内広場は直接同館へ)

市内公的施設と当財団からのお知らせ

情報ポケット

川崎区

川崎市視覚障害者情報文化センター
(愛称:川崎アイeyeセンター)

~視覚障害者情報基地として~



▲ふれあいプラザかわさき

2014(H26)年4月、川崎市視覚障害者情報文化センター(旧川崎市盲人図書館)は、ふれあいプラザかわさき(複合施設)の3階にリニューアルオープンしました。

視覚障害のかたや、通常の印刷文字による読書が困難なかたのための情報基地で

す。だれもが心豊かに生き生きと暮らせる街をめざしています。

◆サービスの概要

1 相談と訓練

専門スタッフが本人と相談し、希望に沿った訓練を行います。

- ①歩行訓練 ②パソコン訓練 ③点字訓練
- ④調理訓練

2 点字図書・録音図書の貸出

視覚障害者用図書には、点字図書と録音図書があります。読みたい本や雑誌は、電話やメールで貸出予約ができます。



▲点字図書の棚

全国の点字図書館によって製作された図書(点字図書約20万タイトル、録音図書約10万タイトル)はインターネット上の電子図書館「サピエ」で管理されており、それらのすべてがセンターを通して利用することができます。

3 生活に便利なグッズの斡旋・販売

白杖、点字器、音声時計、音声体重計、音声体温計、録音図書再生機などの「補装具・日常生活用具」や様々な便利グッズを取り扱っています。身近な不便さが解消できると好評です。

4 文化イベントの開催

同センターでは、定期的に次のようなイベントを開催しています。

- ①音声ガイド付きDVD映画体験上映会(映画のシーンが視覚障害者に分かるように「二人の侍が向かい合って、剣を構えて立っている。」などの説明が入っている)
- ②ヨガ教室 ③れきおんクラブ ④音楽コンサート ⑤読書会など



▲生活情報・用具展示室の棚

◆同センターをより活用していただくために

センター長の杉山雅章さんの、「見えなくなつて文字を失つたかたが、点字を読めるようになることで自信を回復し、次のステップに向かうことができた」という話には、あたたかい思いやりを感じました。



▲杉山雅章さん

「見えない・見えにくいかたなど、生活に不便さを抱えている人たちに、同センターを広く知ってもらいたい。これからも他機関と連携を図り、広報活動をすすめていきたいと思います。」また、「ボランティア活動のための部屋も用意されているので、興味のある方は積極的に参加してほしい。」と話されていました。

◆施設利用

開館日時

火曜日から日曜日:

午前9時～午後5時まで

休館日

月曜日・祝日・月曜日に

あたる祝日の翌日

年末年始・図書整理期間



▲ボランティア活動に利用されている多目的室

◆お楽しみコーナー

Stage Up 232号 クイズに答えよう!



久地梅林公園には、北原〇〇が与謝野鉄幹に贈るために詠んだ「君がため 未明(まだき)に起きて 梅のはな見に来りけり まさやけき花」の歌碑があります。

下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『北原〇〇』 ※ヒント 表紙

【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2020年2月29日(土) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈
(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ) 担当

E-mail:stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報は、発送業務以外の目的では使用しません。



☆231号のクイズの答え・・・農技

2020年度 前期
かわさき市民アカデミー

地域協働講座 受講生募集！

NPO法人性同一性障害支援機構 理事長 中山 貴将 ほか
LGBT・さまざまな性への理解と支援

いま、学校の1クラスに2~3人は、LGBT(セクシュアル・マイノリティ)の人がいると言われています。カミングアウトできずに悩んでいる子どもたちがいる一方、周囲の人の理解がないために、カミングアウトすることで傷つく子どもたちもいます。周囲の大人は、子どもたちの多様性をどのように受け止め、支援すればよいのでしょうか。LGBTについて、正しい知識を学びながら、多様性を認め合う社会を実現するために、私たちにできることを考えます。

5月11日(月)~7月6日(月) 10:00~12:00 計5回
受講料5,300円 定員70名

横浜国立大学大学院教授 常岡 史子ほか
もっと考えたい「家族・夫婦」のこと

家族や夫婦についてのさまざまな固定観念や思い込みを問い合わせ、今の日本の状況を見据えることで新たな家族や夫婦のあり方が見えてくるかもしれません。また、映画では家族・夫婦がどのように描かれてきたかをプラザのミニシアターで堪能し、さらに悲しみを分かち合うための経済学という視点から家族・夫婦の将来像を見たいと思います。

5月15日(金)~6月26日(金)
10:30~12:00 計5回
受講料4,480円 定員50名

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学准教授
砂川 優 ほか

最新医学・医療の現状と展望
セカンドライフを健康に過ごすために

最新医学・医療で明らかになってきたがんの新たな治療といわれるゲノム医療から再生医療における実用化の現状、またシニア世代で罹りやすい疾患の最新治療まで様々な領域・観点から詳しく解説します。

5月19日(火)~6月23日(火)
14:00~15:30 計5回
受講料4,480円 定員70名

市内企業の代表と研究者 ほか

地域社会に貢献している
川崎の会社と人々 その20

川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、世界に誇る先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、川崎・日本の明るい未来を展望します。

4月16日(木)~7月9日(木)
13:30~15:00 計10回
受講料8,980円 定員70名

会場：川崎市生涯学習プラザ他

申込み：詳細を掲載の「かわさき市民アカデミー講座のご案内」パンフレットの受講申込書をご利用下さい。

(生涯学習プラザや各施設にあります) 資料代は実費徴収いたします。

ホームページからも申込ができます。<http://npoacademy.jp/> 申込み締切 2月20日(木)
※定員に満たない場合は、先着順で追加募集します。

問合せ：かわさき市民アカデミー TEL 044-733-5590 (平日9:00~16:00)

2020年度 第Ⅰ期 陶芸教室 受講生募集



《捏(こ)ねる→成形→削る→釉掛け(全12回)》
手づくりの器の味わいを日々の生活に

◆水曜コース 4月1日~7月8日
◆土曜コース 4月4日~7月11日
<時間共通> 手びねり 9:30~12:30
電動ろくろ 13:30~16:30



▲2019年度受講生の作品

会場 川崎市生涯学習プラザ 地下実習室
対象 18歳以上の方 **電動ろくろコースは手びねり経験の有る人**
定員 手びねりコース各15名、電動ろくろコース各11名
内容 土(菊)練り、成形、削り、絵付け、釉薬かけ 等
費用 手びねりコース 34,300円・電動ろくろコース 40,500円(共に材料費、焼成料・釉薬代込み)
申込方法 はがき又は当財団のホームページの申込フォームに、いずれかの希望コースを明記して、
水曜手びねり、土曜手びねり、水曜電動ろくろ、土曜電動ろくろ
住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、担当へお申し込みください。

締切日 2020年2月25日(火)必着

※応募者多数の場合は抽選(初心者優先)結果を2月29日(土)までにお知らせします。

問合せ先・担当 (公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 陶芸教室担当 鈴木
〒211-0064 川崎市中原区今井南町28-41

TEL:044-733-5893 FAX:044-733-6697 E-mail suisin6@kpal.or.jp